

より快適なくらしのために!

公的個人認証サービスをご利用になるには

- 住民基本台帳カードなどのICカードを持って、市区町村役場へ行きます。
- 電子証明書発行申請書を提出し、写真付きの公的な身分証明書(免許証など)を提示します。
- 窓口に設置されている鍵ペア生成装置にICカードをセットし、画面の表示に従って電子証明書の発行に必要な鍵ペアを作成します。
- 窓口にICカードを提出し、電子証明書をICカードの中に記録します。

お問い合わせ

住民基本台帳カード、個人認証サービスについてのお問い合わせは、こちらまで

留萌市役所 市民課戸籍住民係
☎42・1805 (内線114)

住基カードの安全性

住基カードは、高度な安全対策機能を備えたICカードを採用しています。ICカードは小さなコンピュータで、情報を暗号化したり、情報が記録されている領域に鍵をかけることによって、プライバシーを守ります。

また、本人だけが知っている暗証番号がないと利用できません。万が一、紛失し、他人が利用しようとしてもできないようになつてします。紛失に気がついたとき、交付した市区町村に連絡すれば、すぐに全国で使用停止の措置がとられるようになっています。

民間企業が住基ネットを利用し

て、国民の4情報を取得することはありません。また、住民票コードについても、民間部門の利用は法律で禁止されています。

さらに、住基ネットは公的個人認証サービスに不可欠なシステムで、専用のネットワークとして構築され、市町村から住基ネットへの入口には不正進入防止装置を設置し24時間監視を行なうなど、適切な安全対策を行っています。

住基ネットは操作者選別カードと暗証番号がないと動かない仕組みになっています。

◆公的個人認証サービスとは、インターネットを通じていろいろな申請や届出などの行政手続を行う際に、「なりすまし」「改ざん」「送信否認」などを防ぐ仕組みを皆さんに提供するサービスのことでです。

◆このサービスで、なにができるの? 紙による文書には署名・押印をしますが、「個人認証サービス」では「公開鍵暗号方式にもとづく電子署名(デジタル署名)」を行います。これは、ユーザー(本人)ごとに所有している「秘密鍵」と、それに対応する「公開鍵」を利用して電子文書の暗号化・復号化を行なうのです。

秘密鍵がユーザー(本人)のものであることを保証するために「電子証明書」が発行されています。

サービスを受ける場合

手続きは、住基カードなどのICカード(現在、使用できるカードは住基カードのみです。)を持参すると、カード内に秘密鍵と電子証明書(公開鍵付き)が格納されます。オンライン手続きは、電子的な申請書をインターネットを通じて行政機関に送信することにより行います。

手数料として、1件に付き50円かかります。



年のインターネットを中心としたITの急速な進展は、市民ニーズの多様化、高度化をもたらしています。近い将来では、「電子政府」の実現に向けて情報化を推進し、国際的にも高い競争力をを持つ「IT立国」の形成を目指しています。本市においても、住民基本台帳ネットワークシステムや総合行政ネットワーク、公的個人認証サービスの実施によって、より便利なまちづくりを目指しています。

住民基本台帳カード

(3) 全国の市区町村でも自分本人や同じ世帯の方の住民票の写しを受け取れるようになります。

◆住基カードって、なに?

住民基本台帳カード(略称:住基カード)は、住民基本台帳の基本4情報(氏名、住所、性別、生年月日)と住民票コードをネットワーク化し、全国共通に本人確認ができる仕組みである「住民基本台帳ネットワークシステム」の2次サービスとして交付がスタートしました。

※住基カードや運転免許証等の官公署の発行する有効期限内の顔写真付証明書の提示が必要となります。

(4) 引越し手続で窓口に出向くのは、転入時の1回だけになります。

※住基カードの交付を受け、事前に転出手續を郵送する必要があります。

◆住基カードで、なにができるの?

(1) 住民票の写しの広域交付、転入手続の簡素化やパスポートの申請など法律で住基ネットの利用が認められた申請・届出に活用できます。

(2) 公的個人認証サービス(インターネットを利用した申請・届出の本人確認手段)に活用されます。顔写真の有無を選択でき、写真付の場合は、公的な証明書としても活用できます。

◆住基カードの交付を受ける場合

住基カードは、住民票があるまちに申請することで交付を受けすることができます。

手数料として、1件に付き50円かかります。



便利な社会